



横浜市立本町小学校 学校運営協議会【記録】

本町小学校学校運営協議会だより

令和5年度 横浜市立本町小学校 第4回学校運営協議会 が開催されました

➤ 学校ホームページ等での公開版では、個人名の表記をいたしません。

1. 日 時 令和6年2月17日(土) 10:00～11:30

2. 司 会 教務主任
記 録 児童支援専任

3. 参加者 15名
学校運営協議会委員
事務局

4. 欠席者 3名

5. 内容

(1)開会挨拶

(2)学校長挨拶(校長)

- ・本校の取組と120周年の取組について、忌憚のないご意見をいただけたらありがたい。
- ・コロナが5類となり、様々な行事もコロナ前に戻ってきた。子どもたちへの指導事項、子どもたちの思いを大切に実施してきた。来年度も同様に取り組んでいきたいので、お力をいただきたい。
- ・来年度の修学旅行は日光の予定である。(電車利用、11月を予定)
- ・120周年行事の実行委員会が昨日行われた。学校運営協議会の皆様には、進行状況を適宜ご報告させていただく。
- ・いじめ防止については、昨年度の反省を踏まえ4月より全職員で対応をしている。引き続き子どもたちが安心して学校生活を送れるよう取り組んでいく。
- ・みなとみらい本町小学校の延長については、報道の通りである。まだ未確定なことが多い。本町小学校もみなとみらい本町小学校も児童数が増加している。本町小学校は、80名弱の卒業生に対して120名強の入学生を迎える予定。関内駅前の再開発も予定されており、今後も児童数の増加が見込まれる。



(3) 120周年実行委員会報告

- ・実行委員の紹介。委員長は前教育奨励会会長の高橋忠彦様。
- ・2024年度を120thアニバーサリーイヤーとして進めていく。
- ・創立120周年は2025年4月11日である。
- ・今年の4月11日に120周年事業開幕式、航空写真を撮影予定している。
- ・今年の11月に本町フェスティバル、来年2月に記念式典を計画している。
- ・他にもマスコット選定やスローガン、記念パンフレットの作製等を考えている。

(4) 学校評価アンケートの結果と学校の取り組みについて

- ・児童からの回答では「学校は楽しい」「授業がわかる」などの項目はほとんどの項目で肯定率が高い。
- ・保護者や学校運営協議会の皆様からも、ほとんどの項目で高い評価をいただいた。
- ・「よく本を読んでいますか」という質問に対しては、児童、保護者ともに「あまり読んでいない」という回答が多かった。
→教職員の中では、読書タイムやしおりの会の取組があるため、子どもたちが読書に親しむ機会が多いので、本を読んでいる子が多いという認識があったが、この結果を受けて、今後の取組について検討していく必要があるという認識となった。
- ・「休み時間に進んで運動をしていますか」と言う意見については、2018年度より13%低い結果となった。
→コロナ禍での校庭や遊び方の制限が考えられる。今年は、ケガの状況を考えながら、校庭使用の緩和や運動委員会による運動促進の取り組みをした。
- ・「あいさつをすすんでしていますか」という項目はあまり高くない結果となっている。来年度も重点的に取り組んでいきたい。

(5) 重点研究について

- ・今年度も生活科・総合的な学習の時間を重点的に取り組むこととした。
- ・「響き合い、自ら学ぶ子の育成」を研究主題として、文部科学省の教育課程実践検証協力校となり、研究を進めている。
- ・各学年の取組を紹介

(6) 児童支援の取り組みについて

- ・いじめ未然防止の早期発見の取り組み
→アンケート、教育相談、いじめ防止対策委員会
- ・生活目標についての発信
→毎月初めの朝会で生活目標を紹介
- ・YPアセスメントの実施
→年2回のアンケートと担任を中心とした教育相談
- ・本町スタンダードの周知と改善
→児童や教職員の意見を取り入れながら、適宜改善していく。



- ・人権についての啓発
 - 人権週間の取り組みや人権啓発の掲示物
- ・コロナ禍が第5類に分類されてできるようになったこと
 - 調理実習、全校朝会、全校授業参観、宿泊行事、食を伴う総合の授業
- ・特別支援
 - チャレンジ教室、国際教室の取組
- ・職員研修の実施
 - 安全研修、AED研修、メンター研修、児童理解研修、特別支援研修

(7) 委員の皆様による学校評価

- ・本町小学校の先生たちが子どもたちのためにとてもよくやってくれている。
 - 一方で頑張りすぎて休んでしまっている先生がいる。
 - もっと、人材確保、働き方についてアピールしていく必要がある。
- ・子どもたちが多様化(発達、国際)している中で、子どもたちへの関わり方を考えていく必要がある。例えば、児童に応じた特別支援教室の回数等の個別対応などの必要ではないか。
- ・地域とのつながり、情報交換が大切。
- ・体力向上について、どう対応していくか。なわとびなどの活動を子ども達がどうすれば意欲的に取り組めるかを具体的に考えて実践していくことが必要。
- ・120周年の取り組み、大事なのは子ども達を中心となること。そのためなら地域はとて協力していく。
- ・子ども達が地域や大人の協力を得ながら、「自分たちが作った」と感じられるようなものにしてほしい。

(8) 事務連絡

- ・来年度の予定について
 - 第1回を 令和6年 5月11日(土) 委員委属、運営方針説明等
 - 第2回を 令和6年 9月13日(金) 校内授業研究会を参観
 - 第3回を 令和6年~~10月29日(火)~~教職員との懇談 →**10月31日(木)に変更**となります
 - 第4回を 令和7年 2月28日(金) 120周年振り返り、学校評価
- ・本年度の卒業式について
 - 令和6年3月19日(火)
- ・運営協議会委員の来年度の委属について
 - できたら皆様に継続していただきたいが、ご事情等で辞退される場合は、後任の方を推薦していただけたらありがたい。

(9) 閉会挨拶